

共生

奈良県生協連

2014年7月

NO.93

万葉のいぶきを求めて—(58)



かつて知らぬ恋もするかの碑

をみなへし ^{さきさわ}佐紀沢に^お生ふる 花かつみ かつて知らぬ 恋もするかも
中 ^{なか}臣 ^{とみの}女 ^{いら}郎 ^{つめ}

平城宮跡の北に広がる佐紀の地は、磐姫陵の南に連なる大きな池、水上池を中心に大小さまざまな池が散在する沼沢の多い所で、万葉の雰囲気をよく残しています。この佐紀を詠んだ歌7首の内、作者がわかるものは、この中臣女郎の1首のみで、他は無名者のものばかりです。また佐紀を詠んだ歌はどれも恋の歌ばかり、佐紀の地のなせる業でしょうか。

「花かつみ」は花ショウブの一種とも言われています。「かつて経験したことの無い恋に焦がれていますよ」これは女郎が若き日の家持に贈った恋の歌です。家持を巡る女性は10人を越えたといわれていますが、女郎は熱烈な恋の歌5首を家持に贈るのですが、家持からの答えは一首も見当たりません。完全な一方通行だったのでしょうか。

この佐紀の沼沢でカキツバタは磐姫陵の堀にやっと見るのみです。この歌碑の立つ水上池の池畔、時々魚のはねるパシャンという音が響いた後は万葉の静寂に戻りました。

第25期 奈良県生協連通常総会

2014年6月21日(土) 奈良ロイヤルホテル



第25期通常総会を6月21日奈良ロイヤルホテルにて開催し、代議員を含む89名が会場に集いました。2013年度の取り組みまとめと2014年度方針を確認し奈良県連はあらたなスタートをきりました。

全議案が承認可決されました

- 第1号議案：2013年度事業報告・決算関係書類承認の件
- 第2号議案：2014年度事業計画及び予算案決定の件
- 第3号議案：監事監査規則変更の件
- 第4号議案：役員選任の件
- 第5号議案：役員報酬決定の件
- 第6号議案：議案決議効力発生の件



議長の吉田由香さん

瀧川潔会長 挨拶

生活協同組合はこれまで自主・民主・協同を大切に、「平和とよりよいくらしのために」を掲げて運動をすすめてきました。しかし今、平和や「民」が主体ということが危うくなろうとしています。県内の皆様の連帯と協力を強めながら、組合員中心のくらしのための活動を頑張りたいと考えます。



来賓ご祝辞より



姫野隆昭 奈良県消費・生活安全課課長

昨年度は表示偽装や農薬混入事件があり食品の安心安全に再び関心が高まった年でした。また高齢化の進行に伴い詐欺商法も増加しています。消費者教育がいま重要な課題ですが、こうしたテーマについて県政と連携協力をお願いします。



浦田和久 近畿労働金庫地域共生推進部長

福島子ども保養プロジェクトや協同シンポジウムなど共催ができました。お金を「道具」として使うと富の偏在が発生し多くの方が不幸になります。協同組合による「人を蹴落とさない」経済が今注目されています。これからもお互いの連携を深めましょう。

ご臨席の来賓の皆様

※順不同

- 奈良県くらし創造部消費・生活安全課課長 姫野 隆昭氏
- 同主事 井阪 素也氏
- 奈良県消費生活センター所長 松並 裕氏
- 日本生協連関西地連事務局 元山 鉄朗氏
- 近畿労働金庫地域共生推進部長 浦田 和久氏
- なら消費者ねっと副代表 小泉 隆志氏

寄せられた
メッセージ・祝電
…60通

県内協同組合及び関係諸団体
全国の生協、生協連の皆様
～ありがとうございました～

奈良県生協連 2014年度の重点課題

1. 協同組合の理念と実践を地域に広げます
2. くらしと社会の問題を学び考えあう場をつくります
3. 消費者市民社会の実現をめざし地域ネットワークによる消費者教育に取り組みます
4. 東日本大震災を忘れずに復興支援に関わります
5. よりよい奈良の明日のために南部東部地域活性化に関わります
6. 医療福祉生協の事業安定化を支援します
7. 会員活動支援と連携を強めます

もくじ

奈良県生協連第25期通常総会	1	なら消費者ねっと総会	8
通常総会会員報告	3	環境のページ	9
厚生労働大臣感謝状を受賞	5	3・11 忘れない みやぎ生協から被災地・	
集団的自衛権の行使容認反対意見書	6	宮城のいまをお伝えします	10
おじゃましました・大阪樟蔭女子大生協	7		

2014年度の役員体制

よろしくお願ひします! ~新任理事の皆様~

おつかれさまでした



新任副会長 野崎敏明さん
(奈良県労働者共済生活協同組合)



新任理事 後藤高宏さん
(大阪樟蔭女子大学生生活協同組合)



今期で退任の理事 小林和美さん
(大阪樟蔭女子大学生生活協同組合)

役 職	氏 名	所 属
会長	瀧川 潔	員 外
副会長	野崎 敏明	奈良県労働者共済生活協同組合
専務理事	辻 由子	市民生活協同組合ならコープ
理事	粟村 俊夫	奈良県立大学生生活協同組合
理事	石間奈穂子	奈良工業高等専門学校生活協同組合
理事	加藤 由美	奈良女子大学生生活協同組合
理事	後藤 高宏	大阪樟蔭女子大学生生活協同組合
理事	崎濱 誠	奈良教育大学生生活協同組合
理事	立石 昭彦	生活クラブ生活協同組合
理事	仲宗根迪子	奈良県医療福祉生活協同組合
理事	中野 素子	市民生活協同組合ならコープ
理事	前田 陽一	生活協同組合コープ自然派奈良
理事	森 宏之	市民生活協同組合ならコープ
監事	稲津 和之	奈良県労働者共済生活協同組合
監事	田村 俊文	市民生活協同組合ならコープ

懇親会での会員交流

さまざまな情報交流に花が咲きました



会員生協のコーナー



松並所長



- ★ご挨拶いただいた奈良県消費生活センターの松並所長からは、ますます悪質化する詐欺的商法と県内における消費者被害の傾向などについてご紹介がありました。引っかかりにならないようにするために、高齢者の見守りや組合員同士の学習など、生協の活動への期待を述べられました。
- ★恒例の会員生協のコーナーはそれぞれの生協の取り組み紹介や個性あふれるトークで盛り上がりました。労済生協は共済商品のマスコットキャラクターについてのクイズがあり、参加者全員で楽しみました。活動分野や世代を超えた交流のできる懇親の機会ともなり、自生協の取り組みの情報交換がすすみました。

会員生協からの活動報告

奈良県労働者共済生活協同組合 郡 恵美さん



私たちは「保障の生協」として組合員の様々な暮らしのリスク補償を「共済商品」として提供する生活協同組合です。2011年東日本大震災以降30年以内に大きな震災も予想され、近年異常気象による台風や大雪被害など自然災害に対するリスクがたかまっています。今年2月の大雪でも全国で35,000件奈良県でも360件の住宅被害があり、取り扱い商品でもある火災共済、自然災害共済に加入組合員さんへの迅速なお支払、また保障の必要性や今後起こりうる災害への防災、減災の啓発活動を行いました。今後も労済生協としてご家族みなさんに安心をつなげる活動をしていきたいと思っています。

奈良工業高等専門学校生活協同組合 黒田 晃平さん



組合員還元企画としてかき氷を一杯100円で提供する「かき氷企画」は、天気にも恵まれてたくさんの方に利用いただき、また普段より安い価格提供した「ケーキ喫茶」も昨年に比べ利用者が増加しました。春と秋の2回実施している「自転車点検」では、ブレーキやかごの歪みなどを無料で点検したり直したり今年度利用者が増加しました。学生の健康促進企画では、肌チェック・体力測定・体組成チェック・アルコールパッチなどの食生活相談会を行いました。今年は混雑解消が課題です。事前にポスターやツイッターで活動の予告した成果もあって、全体に利用者が増加し、生協の活動を学生に広めることが出来ました。

奈良県立大学生生活協同組合 大槻 美奈さん



「たまごとじ通信」は、入学した新入生の大学生活の様子や大学情報を1冊にまとめ新入生の保護者にお届けする保護者向けの冊子です。保護者や新入生に生協学生委員会の活動を身近に感じてもらえるよう全ページ手書きで作成しました。写真を昨年よりも多く取り入れ、目次も入れ替え「部活・サークル紹介」「新入生の1日」など新しいページも増やしました。作成に当たり反省点もありますが改善してつなげていきたいと思っています。また新入生の生協加入率が低いことから、「生協」「組合員」とは何かをしっかりと理解してもらうことを大事に「生協加入率アップ強化月間」に取り組み新入生の加入が急激に上がりました。今後も私たち自身が楽しみながら企画を通して組合員になってほしい姿を見てもらえたらと思っています。

奈良教育大学生生活協同組合 村松 星(あかり)さん



生協学生委員会は組合員がより快適で、安全で楽しい大学生活を送れるようにと考えて年間を通して様々な活動を行ってきました。昨年の総代会での意見を基に、昼休みの食堂、購買の混雑問題を解消するためレイアウトを変更しICカードの利用推進、席の譲り合いの呼びかけを行いました。生協入口エントランスにメニューポスターを作りメニューを選ぶ時間を短縮。混雑解消にも一役買いました。「なきょうさい」では「からだの日」で自分の体を見直してもらい病気やケガの予防。「チャリの日」で自転車の無料点検や自転車マナーも呼びかけ事故を未然に防ぐ取り組みもしました。生協と学生がこれまで以上に結びつきもっと多くの願いを実現し、みんながより良い大学生活を送れるように活動できたら素敵だと思っています。

奈良女子大学生生活協同組合 矢野 超(しのぶ)さん



昨年7月のオープンキャンパスでは50人を超える学生委員会が大学と全面的に協力し、ピンクのポロシャツを着て入学希望者や保護者を学内案内。入試直前の時期には、受験生たちに手書きのメッセージ。印刷ではなく先輩が直接メッセージを、ということに感激する受験生もたくさんいます。自分たちがお世話になったから今度は後輩たちに、という思いで学生委員会に入る新入生も多く、好循環となっています。店舗での活動もひとことカードやツイッターなどで前進中。奈良女の学生がデザインしたオリジナル“ゴーフル”というお菓子も作成。今後も、生協と組合員の架け橋としての学生委員会の活動が広がればと思います。

大阪樟蔭女子大学生生活協同組合 小林 和美さん

今年度で関屋キャンパスは小阪キャンパスに統合となり、1996年から始まった奈良の生協としての活動も大阪に移ることになり準備が進んでいます。昨年初めて小阪キャンパスに学生委員会ができ、新入生歓迎企画「宝探し」ではキャンパス内の施設を回りました。その中から1年生8名が学生委員として加わることになりました。これからも大阪の生協として学生さんと一緒に、学生生活を支援していきたいと思っています。



生活協同組合コープ自然派奈良 船内 智子さん

2013年度は2回のフェスティバル開催もあり、のべ3600名余りの組合員がイベントに参加しました。組合員活動は、チームが7、地区クラブが2、委員会が3あり、ビジョン会議を中心に商品や活動をより多くの方に知ってもらうために「自然派オープンキャンパス」の取り組みを進めました。ビジョンの3つのテーマ「ふーど・つながる・みらい」に沿った活動として遺伝子組み換えナタネ調査、米粉ケーキ作り、産地訪問やみそ造り、子ども食フォーラムでは、子どもたちが食材を買いだして作ったお手製のお弁当コンテストもありました。6年目を迎えた「大和ひみこ米」は年間を通じて組合員と生産者が一緒に育てています。組合員、生産者、地域がお互いを思いやり助けあひながら協同組合の理念「愛・いのち」を中心につながり持続可能な社会を目指していきたいと考えています。



奈良県医療福祉生活協同組合 湊 初恵さん

みみなし診療所もこの8月1日で2周年を迎えます。2013年度は2年目ということもあり多くの取り組みを行うことが出来ました。金先生ご専門の消化器内科の特徴を生かした診療が広がりました。また無料送迎サービスをスタート。声を聞きとる「虹の箱」も設置し診療所運営に生かしています。予防接種や保健予防事業、健康づくりを広げるために組合員の活動も広がり健康チェックは奈良県下で行い多くの参加がありました。生協ホールでは健康体操などの企画も行い「健康のつどい」は生協ホールだけでなく、地域にも出張して開催しました。第一回いきいき健康まつりには500名を超す参加があり連携も強まりました。2014年度は健康について語り合う場を増やし組合員はもとより奈良県下に健診を広く進め健診受診率をアップさせたいと思います。



生活クラブ生活協同組合 木田 洋子さん

「化学肥料や農薬を使わないで育てたやさしいが食べたい」という組合員の声と「旬をはずさなければ基本的に農薬はいらない」という生産者の声につながり、「やさしいBOX」が実現しました。おまかせセットです。今年6月にホームページをリニューアルし、組合員から要望の多かった「やさしいBOX」のセット内容を配達の前日昼までに掲示することになりました。組合員から理事長を選出して2年目、生活クラブは組合員の声を大切にしています。



市民生活協同組合ならコープ 有山 富士美さん・関 明子さん

ならコープは今年創立40周年を迎えます。創立以来組合員の声を大切にしてきました。総代会で組合員の声から実現した事例として「防災かまどベンチ」があります。普段はベンチとして利用し、防災時には座板を外せばかまどになり炊き出しに活用できるという優れものです。町の避難所に指定されている「ディアーズコープたつたがわ」に地域・行政・そしてならコープの組合員協同で2か月かけて2基作り、今春に完成した新本部にも作り、奈良市の防災の拠点として登録されました。もう一つ「コープあったか便」があります。「高齢者を含む買い物困難者を支援してほしい」という組合員の声にこたえる形で、「コープあったか便移動店舗」が走り始めました。これからも、くらしに寄り添い誰もが利用し続けることが出来る生協にしていくことが私たちの責務だと思います。



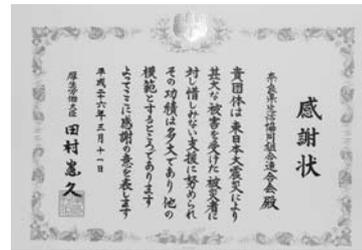
東日本大震災における被災者の支援活動等に関する 厚生労働大臣感謝状を受賞しました

2014年3月11日、厚生労働省は、2011年3月に発生した東日本大震災における被災者支援活動を行った団体などに対して、厚生労働大臣から感謝状を贈呈することを決定しました。

対象は、厚生労働省所管事業に関する貢献をした団体で、生協では、全国7つの生協が受賞することとなりました。奈良県では、4月22日に県庁内にて奈良県生活協同組合連合会・市民生活協同組合ならコープも出席し、影山清くらし創造部長から伝達されました。

奈良県生活協同組合連合会では引き続き全国の生協や諸団体の皆様とともに被災地支援の取り組みを進めていきます。

(左から2番目)
奈良県生協連
瀧川会長
(左から3番目)
ならコープ
中野副理事長



奈良県生協連会員生協役職員研修会を開催

「奈良県における大規模災害と防災対策」について学びました

講師：河田恵昭氏（関西大学社会安全学部・社会安全研究センター長）

2014年4月18日、奈良商工会議所において奈良県生協連の会員生協役職員研修会を開催しました。

今年度は「防災・減災」をテーマとし、防災学の第一人者として著名な河田恵昭（かわたよしあき）関西大学社会安全学部教授・同社会安全研究センター長を講師にお招きしました。奈良県から長岡雅美危機管理監、中澤修知事公室次長、尾崎俊之防災統括室室長補佐のご臨席のもと、会員生協役職員42名が奈良県における大規模災害と防災対策について学びました。



河田 恵昭先生

河田先生は初めに、南海トラフ巨大地震や県内を通る活断層による内陸型地震の被害想定などに触れ「奈良県はもっと防災意識を高める必要がある」と警鐘を鳴らされました。「被害にあえば命、財産、すべてを失うことになるが、今は情報が命を助けられる時代である」こと、「災害では想定外の様々な事態が被害を拡大させる」ことなどを指摘され、いかに日頃の防災対策が重要であることを強調されました。そして、被害を減らすと同時に、復旧までの時間を短くすることにより、社会に及ぼす影響を減らすために「最悪被災シナリオの上に効果的な危機管理を行い、公、共、民の連携を図ること」、「強くてしなやかなレジリエント*な社会づくり」などを呼びかけられました。

*レジリエント：「弾力のある」「回復の早い」の意

また奈良県知事公室次長で防災統括室長の中澤修氏より「奈良県地域防災計画の見直しについて」お話しをいただきました。紀伊半島大水害の経験教訓を踏まえるとともに大規模広域災害等への対応できるものになるよう、避難所・避難ルートの整備・確保や緊急物資の供給体制、家庭内備蓄、帰宅困難者対策などについて検討が行われました。

この研修を通して参加者は、奈良県と全国規模での地域防災について深く考える機会となりました。



中澤 修 奈良県知事公室次長

憲法解釈の変更による 「集団的自衛権の行使容認」に反対する意見書を、 安倍晋三内閣総理大臣に提出しました

5月27日、奈良県生活協同組合連合会は、会長名で、「憲法解釈の変更による『集団的自衛権の行使容認』に反対する意見書」を内閣総理大臣宛に送付しました。

内閣総理大臣 安倍 晋三 様

憲法解釈の変更による「集団的自衛権の行使容認」には反対です

—— 「同盟」よりも「互惠」を ——

世界に誇るべき日本国憲法の記念日を前後にして、安倍政権は、憲法についてのこれまでの政府見解を根本的に変更し、集団的自衛権の行使を容認すべきだとの決意を固め、私的な諮問機関の設置と報告書を盾にして、強硬にこれを進めようとしています。

私たち生活協同組合は、くらしの基本である平和を大切に守って行くために組合員とともに力を尽くしてまいりました。日本国憲法は、二度の世界大戦の悲惨な経験を土台として、世界平和のための知恵をもとに作成された国際的に先駆的な憲法です。この憲法の解釈を変更し、集団的自衛権による「軍事的攻撃」を可能にすることは、手続き上もその内容も、憲法を最高の法規とする立憲主義に反する、許されるべきでない対応です。

安倍総理が説明で示された自国の安全に対する脅威のほとんどは、領土領海内においてはもちろん、「集団的自衛権」にたよることなく、現在の法規とその準用で解決が可能であり、ことさらに憲法解釈を変更することは不要であるといえます。解釈を変更してまで対応しようとする「集団的自衛権」の主要な点は「同盟国軍への攻撃に対し日本が軍事攻撃を行う」ことにあり、この場合は「まず間違いなく他国の戦争に巻き込まれる」ことになります。だからこそこれまでの政権は「行使はしない」としていたわけです。いたずらに危機をあおって、問題のこの一点に引きずり込むようなことは許されることではありません。

そもそも「集団的自衛権」は「同盟国」との関係であり、「日米安保条約」が締結時に強調されたように「軍事同盟ではない」のであれば、ことさら問題になることでもなく、今までの政府見解が成立した根拠だったともいえます。「冷戦」も終焉を迎えた今日の世界では、「同盟」は過去のものとし「互惠」を推進することこそが世界平和と国民のくらしを守ることにつながります。「同盟」を強調することは戦争の火種に息を吹きかけるようなものです。外国との間の領土や資源等の問題では、もともとこれらはどこの国家のものでもなく世界の人類、生物のものであります。このことを基礎において、先駆的な日本国憲法の平和主義を生かし、互惠の観点で協議による問題の解決を推進して行くことこそが先進的な対応であり、今こそ求められているものです。

「人と人とのつながり」「助け合いと協同」を精神とする生活協同組合の私たちは、日本国政府が、他国と同じように過去の偏狭なナショナリズムにおちいるのではなく、世界の日本を認識した先進的な対応により、真に国民のくらしと安全を守るよう心から願うものです。

2014年5月27日
奈良県生活協同組合連合会
会長 瀧川 潔

おじゃましました～大阪樟蔭女子大学生協の巻～

2014年度 大阪樟蔭女子大学生協総代会

大阪樟蔭女子大学は、来年2015年4月より関屋キャンパスを小阪キャンパス（大阪）1箇所へ統合されます。それに伴い生協も小阪キャンパスだけになります。今年2014年度はキャンパス統合に向けて準備する年になり、統合後は「奈良県生協連」から離れ、「大阪府生協連」「大学生協阪神事業連合」に加入されることになります。奈良での最後の総代会の取材に出かけました。

日時	2014年5月30日（金）18:00～19:30
場所	関屋キャンパス食堂
議案	第1号議案 2013年度事業報告・ 決算関係書類等承認の件
	第2号議案 2014年度事業計画及び予算決定の件
	第3号議案 定款一部変更の件
	第4号議案 団体への加入承認の件
	第5号議案 役員報酬決定の件
	第6号議案 議案決議効力発生の件
	第7号議案 2014年度役員改選の件



関屋キャンパスは
みどり豊かなキャンパス!



小林専務より報告・提案



学生委員会から活動報告



後藤店長が小阪キャンパスの様子を、映像を使って紹介

本人出席25名、書面議決書65名、合計90名（総代総数107名）の出席で総代会は始まりました。小林専務理事、関屋キャンパス学生委員、小阪キャンパス4回生からそれぞれ報告があり、その後の討議があり、コーヒーメーカーの設置やICカード化の要望が出されました。



採決のようす

この総代会は、大阪樟蔭女子大学と大阪樟蔭女子大学生協のこれからのことを考える総代会でした。小阪キャンパスに統合されることで、今まで関屋キャンパスでは800人だった学生が小阪キャンパスにまとまり2400人の規模の生協になることとなります。2400人の学生に対応できる食堂運営をはじめ、期待に応えられる生協になれるように頑張りたいとの後藤新専務あいさつ。来年、奈良を離れることはさびしいことですが、未来を感じるいい総代会でした。エールを送ります。

なら消費者ねっと

第1回定期総会・記念シンポジウム報告

2014年5月10日(土)13:00から奈良県社会福祉総合センター5階研修室で開催されました。第一回定期総会は北條正崇代表挨拶のあと、議案書及びパワーポイントスライドによる議案提案ののち、子ども若者の消費者教育、高齢者や障がい者の消費者被害未然防止を目指した取り組みと諸団体との交流、悪質事業者への申し入れ活動等に取り組んだことなどが報告されました。2014年度はこれらの活動をさらにすすめ今後は事業の受託や助成金にチャレンジしていきたいこと、NPO法人格の取得を目指すこと、などが課題として挙げられました。

記念シンポジウムは「消費者安全大会～奈良県から消費者被害をなくそう！あなたはだまされていませんか～」をテーマに開催されました。

落語

笑福亭松枝さん「笑いの中にヒントあり！ たのしく学ぶ消費者問題」

古典落語のネタとトークを織り交ぜながら、面白おかしく消費者問題についてお話しされました。

笑いのうちにいつの間にか消費者問題がわかるようになると参加者から好評でした。



寸劇

グループあんあんと北條正崇弁護士

健康食品の送り付け商法や投資詐欺などについての啓発劇と弁護士による解説をつけて啓発を行いました。

パワーポイントも駆使した熱演に会場が盛り上がりました。



トークサロン

奈良県手をつなぐ育成会副理事長 阪口貴子氏、(一財)奈良県老人クラブ連合会理事 福嶋昭代氏、つるまい団地見守りネットワーク会会長 小山次子氏、副会長 福角久美子氏の4名が登壇。

コーディネーターの前川一彦副代表の進行で、各団体の取り組みや消費者被害について感じる事、これから必要と思うことなどについて話し合いました。



閉会挨拶

奈良県消費・生活安全課課長 姫野隆昭氏

奈良県では消費者教育を推進しているが行政だけでは難しいので、団体や個人との協同連携によりすすめていきたいことなどを述べられました。



生協・行政協議会を開催しました

5月15日(木)奈良商工会議所で、2014年度第1回生協・行政協議会を開催しました。

奈良県消費・生活安全課からは姫野隆昭課長はじめ4名の方にご参加いただき、食材の表示問題についての行政対応、県内の消費者被害の傾向などの情報提供や、食品衛生監視指導計画などについて説明がありました。生協側からは、県連の2014年度方針を説明するとともに消費者教育推進計画にかかわるアンケート実施や、ホテルなどの表示偽装防止についての要望などが出されました。食品の安全安心や消費者問題などについて、今後も県行政と生協が協力関係を強めるための意見交換となりました。



環境のページ

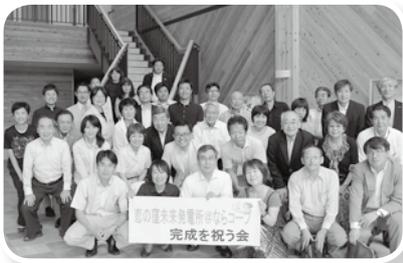
「恋の窪未来発電所@ならコープ」 完成を祝う会 開催

日時：2014年6月7日（土） 場所：ならコープ新本部

主催：一般社団法人 地域未来エネルギー奈良* 共催：奈良県生活協同組合連合会、市民生活協同組合ならコープ



ならコープ旧本部屋上から新本部屋上
「恋の窪未来発電所」を見学



「記念撮影」ならコープ新本部
エントランスホールにて

市民主導の再生可能エネルギー普及をすすめる「一般社団法人 地域未来エネルギー奈良」が、トランスバリュー信託株式会社を通じて市民から集められた資金の融資 1800 万円を受けて、ならコープ新本部の屋根に市民共同発電所（49.6 kW 太陽光発電）を完成させ、「祝う会」が開催されました。

出資者はじめ、行政や関係者など68人が参加。仲川奈良市長からのメッセージや山下生駒市長からのあいさつ、奈良県エネルギー政策課平田課長から県の再生可能エネルギー導入の取り組み施策の紹介がありました。また、設置場所を貸したならコープ森理事長からならコープのエネルギー政策を含む環境に関する取組の紹介、地域未来エネルギー奈良からは今までの経過と発電量についての報告、和田武元立命館大学教授からは「再生可能エネルギーと市民の役割」というテーマで豊富なデータをもとに講演があり、市民主導で再生可能エネルギーを進める重要性を強調されました。その後、ならコープ旧本部屋上から、隣の新本部の屋上の太陽光発電設備などを見学し、後の懇親会では、様々な立場の方40名が自己紹介し交流しました。これを出発点に、「地域未来エネルギー奈良」により県内の再生可能エネルギー普及が広がることが期待されており、奈良県生協連もこの活動を支援していく予定です。

* 一般社団法人 地域未来エネルギー奈良

地域の再生可能エネルギー導入やまちづくりに関する事業を行い、安心して安全なエネルギーの地域自給を通じた地域活性化に寄与することを目的に、2013年12月9日に設立。

里山資本主義を奈良に Vol.2

～不安を希望に～

ならNPOフォーラム2014

日時：2014年5月24日 場所：桜井市立図書館 主催：奈良NPOセンター 協力：近畿労働金庫 奈良県生協連

山間地域の資源を生かし、お金の価値だけではなく心豊かに暮らすことができる「里山資本主義」の可能性を考えるフォーラムが開催され、230人が参加しました。「里山資本主義」を提唱する藻谷浩介氏（日本総合研究所調査部首席研究員）の講演会があり、奈良では里山資本主義を実現できる環境にあることを話されました。奈良県内で活動している3つの団体（いこま棚田クラブ、うだ夢創の里、地域未来エネルギー奈良）から報告があり、里山保全や地域おこしやエネルギー自給の可能性などを考える企画となりました。



2014年6月5日

3.11を忘れない。。

みやぎ生協から被災地・宮城のいまをお伝えします

依存症の背景にある不安

「まさか3年以上も仮設住宅にいたとは思わなかった」。最近そうした嘆きをよく耳にするようになりました。

長引く避難生活は生活不活発病やアルコール依存症などの引きがねとなります。仮設住宅入居者を対象にした県の健康調査(※)では、「震災前に比べ日頃の生活で体を動かす機会が少なくなった」との回答が約半数を占めました。「朝または昼から飲酒する」人の割合は前年度より増えており、特に男性にその傾向が高くなっています。また21.1%の人が「災害を思い出して気持ちが動揺することがある」と答えています。

女川町は人口の約1割が津波の犠牲になりました。「皆さん喪失感が大きい」と町健康福祉課の三浦ひとみさんは言います。町は「ここらとからだづくりの相談センター」事業で町内8カ所に心と体の専門員や相談員を配置。「外出して人と交流する。その積み重ねが生活不活発病の予防になる」と考え、健康体操やお茶会、戸口訪問を行っています。

アルコール依存症の人も増えています。「依存症には津波で家族を喪った、家を無くして借金があるなど様々な背景があるので、半年や1年で解決するほど簡単ではありません。本人が治療してみようという気持ちになるまで寄り添うことが大事」と長期にわたるケアを重視します。

女川町では今年3月待望の災害公営住宅が完成しました。しかし計画945戸のうち出来たのは200戸だけで、残りは2年後の平成28年度を待たなければなりません。

「引越してまた一から隣人関係を築き直す不安もあれば、あと2年間仮設に居なければならないという不安もある。そうした不安を専門員だけでなく、いろんな人が見守りながら受け止めていければと思います」と三浦さんはその思いを話してくれました。

※宮城県「平成25年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査結果の概要」



「専門員だけでなく、みやぎ生協の宅配の人やガスの集金人さんと打ち解けて話す住民もいる。いろんな人とつながっている環境が大切」と話す三浦ひとみさん(女川町健康福祉課)



ことし4月に入居が始まった女川町運動公園災害公営住宅

情報提供/みやぎ生協

「アースデー2014 in なら」が開催されました 4月20日

「未来へつなごう! 奈良の豊かな自然と文化」をテーマに、国営飛鳥歴史公園・石舞台広場で開催され、1200名が参加しました。昨年に続き、行政(南部地域の8市町村)、奈良県森林組合連合会、小水力利用に取り組む南部地域の団体などからも出展されました。ステージでは、飛鳥太鼓やチェーンソーアートの披露、ゆるキャラ写真撮影会などが行われました。奈良県生協連ブースでは「奈良県医療福祉生協」による健康チェック(血圧測定、体脂肪測定など)が行われ、健康相談をされる方で賑わっていました。

また、奈良公園登大路園地一帯で、コープ自然派奈良なども参加する「アースディ奈良2014」が開催され、多くの参加者で賑わっていました。



県連日誌

4月

- 3日 県庁新年度挨拶訪問
- 4日 日本生協連総会議案検討会
辻本南部東部振興監、
村上南部東部振興課長、
上田同参事来訪
- 17日 奈良県生協連役員研修
- 18日 アースデー in なら 2014
「東日本大震災における
被災者の支援活動等に対
する厚生労働大臣感謝状
伝達式」
- 22日 なら消費者ねっと運営委員会
- 23日 吉野共生PJ推進委員会
- 30日

5月

- 「介護保険制度改定・
新しい地域支援事業」
地連学習会
- 8日 奈良県生協連監事監査
- 9日 なら消費者ねっと第1回定期
総会・記念シンポジウム
- 10日 南部地域産業復興推進協議会
- 14日 第1回生協行政協議会
- 15日 奈良県生協連第7回理事会
- 20日 奈良県立大生協総会
- 22日 奈良教育大生協総代会
奈良県農政推進会議農村
活性化部会・中山間地域等
総合対策検討会
- 22日 奈良女子大生協総代会
- 23日 ならNPOフォーラム
「里山資本主義の極意」
- 24日 なら消費者ねっと運営委員会
- 27日 奈良高専生協総会
- 29日 大阪樟蔭女子大生協総代会
- 30日

6月

- 恋の窪未来発電所@ならコ
ープ 完成を祝う会
- 7日 ならコープ総代会
- 11日 平和憲法・九条を考える全
国生協組合員ネットワーク世
話人会
- 12日 日本生協連第64回通常総会
- 13日 奈良県医療福祉生協総代会
- 14日 生活クラブ生協総代会
- 16日 コープ自然派奈良総代会
- 20日 奈良県生協連第25期通常
総会
- 21日 なら消費者ねっと・行政懇
談会・運営委員会
- 24日

お知らせ

ピースアクション in なら 2014

核兵器のない世界をめざして私たちにできること

- 日時 : 2014年10月11日(土) 14:00 ~ 16:30
- 会場 : 奈良市北部会館(最寄り駅:近鉄高の原駅)
- 講師 : 安斎育郎氏(安斎科学・平和事務所所長)
- 主催 : ピースアクションをすすめる会
- 後援 : 奈良県 奈良市

編集後記

新しい事務所に移ってから、来客が増えました。県連の4名にしては広い事務所ですが、奈良県生協連への来客はもちろん、「地域未来エネルギー奈良」に関係するNPOの方や、恋の窪未来発電所(49・6kw太陽光発電所)を見学に来られる方や出資者や情報提供していただく方などに対応できるようになりました。様々な団体をつなぐ奈良県生協連でありたいですね。(順)

今年も半分が過ぎ梅雨の季節となり、我が家ではこの時期毎年梅干をつけています。あとは晴れ間を待っての陰干しを待つばかりです。梅干を食べてこの夏ものりきりたいと思っています。(佳)

医療福祉生協さんの健康チェックで初めて骨密度を測定したら、何とすでに危険水域！成人病関連はいつも優秀な結果だけに、大きなショックでした。それでも「受診をしつかり治療をすれば必ず改善できるから心配ないよ」という活動組合員さんのアドバイスはとっても心強いものでした。

今、応急措置でサプリを飲んでいるところですが、きちんと専門医の指導が必要でしょうね、頑張ります。(由)

娘が結婚しました。たくさんの人に出会い、みんなに支えられてこの日を迎えたことを実感しました。感謝の気持ちでいっぱいになりました。(和)